

【05】 Topics

- 平成27年度
大阪府 地震・津波災害対策訓練にOFIXが参加！
- 池田市国際交流センターがオープンしました！

【06】 お知らせ

- ◎ 平成27年度ワン・ワールド・フェスティバル開催
- ◎ 大阪府堺留学生会館オリオン寮4月入居者募集

編集後記

【01】 年頭所感

■ ボランティア社会の形成をめざして

大阪府国際交流財団 理事長 堂本 佳秀

あけましておめでとうございます。お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、大阪府の国際化戦略の推進及び当法人事業にご指導、ご協力いただき、ありがとうございました。

今日の情報通信技術革命は、グローバリゼーションのうねりとして、かつての産業革命を凌ぐ勢いで私たちに経済、社会、文化の再編を迫ってきています。これまでの価値観が常に検証される時代に突入しています。私も、英会話学校の講師の勧めで始めたTED Talksで、日々「世界は広い」を実感しています。日本の学校教育では想像もできなかった斬新な発想、説得力のある論理展開に魅了されています。

わがOFIXも、3か年の中期経営計画（平成27-29年度）がスタートし、お陰様で計画初年度は、(1)国際理解教育の小・中学校への拡充、(2)市町村での外国人1日相談窓口の開設促進、(3)災害ボランティアの拡充の3本柱について、時代の追い風もあって主な目標値は達成できる見込みです。

また今月19日には、大阪府が実施する地震・津波災害対策訓練の一環として、大阪府国際課等と共同で大阪府災害時多言語支援センター運営訓練を実施します。こうした試みが、これからのボランティア社会の形成に少しでも寄与できればと考えております。

国際交流事業は、これまでも各事業主体によって積極的に推進されてまいりましたが、今後は、より広い範囲を視野に置いた事業展開が必要となってきています。OFIXは、公益法人として、柔軟で裾野の広いボランティア社会の形成を目標として、グローバル時代に対応した事業展開や法人運営のイノベーションに努めてまいります。皆様には改めてご理解、ご協力をお願い申し上げます。

また、タイムリーな事業案内、事業報告は昨年から始めたfacebookを積極的に活用し、今年からOFIXニュースは季刊（4月・7月・10月・1月）とし、内容の充実に努めてまいります。

なお、昨年に引き続き、賛助会員をはじめOFIXボランティアの方への年賀状は、今年もこの年頭所感に代えさせていただきます。

【02】 事業報告

■ 「大阪府災害時多言語支援センターを考える」 職員研修を通じて

大阪府国際交流財団 広報主任 阿部 佳代

OFIXでは、大規模災害時に大阪府と共同で大阪府災害時多言語支援センターを開設する協定を結んでいます。そのセンターを円滑に運営していくために、平成27年11月30日、「大阪府災害時多言語支援センターを考える」職員研修を実施しました。

研修は、2部構成で、前半では多文化共生マネージャー全国協議会理事の土井佳彦氏に「災害多言語支援センターの役割」について講義をしていただきました。まず多言語支援センターの機能・役割の説明があり、その後、センターの組織体制や具体的な活動業務について、「東北地方太平洋沖地震多言語支援センター」のセンター長を務められた体験や、他府県・国際交流協会の事例をあげながらの解説がありました。

大規模災害時に、日本人と日本語の理解が十分でない方々との「情報格差」を埋めるための多言語支援というセンターのミッションを果たすためになすべきことを学びました。

後半のワークショップでは、大阪府災害時多言語支援センターに設置する「センター長班」「多言語支援班」「相談班」「調整班」の各班に分かれ、その役割について、「できていること」、「できていないこと」そして「課題に向けての取り組み」を、各々がワークシートに記入し、班ごとに話し合いました。

参加職員は、前半の講義を参考にしつつ現状を整理し、課題を洗い出して、今後取り組んでいくことを共有しました。

次回の研修までに、各班がアイデアを出し合って課題をクリアにし、よりスムーズなセンター運営につなげていくよう思いをひとつにした研修となりました。

【03】 大阪府外国人情報コーナーについて

■ 平成27年度の相談状況

OFIXでは、平成21年度から大阪府の委託を受けて、大阪府外国人情報コーナーを開設しています。英語をはじめ韓国・朝鮮語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語の8言語で対応しています。日本語

と英語以外の言語に関しては、3者通話のできる電話システム（トリオフォン）を用いて、外国人相談者と当コーナー相談員、自宅待機機の登録相談員の3者をつないで対応しています。

今年度(平成27年度) 4月から11月末までの相談件数は、昨年度の同期間に比べ、約32%246件増加しており、特に4月と10月は月平均値に比べ約23%増でした。転居、就職など生活が変化する時期であるためと考えられます。また市町村窓口からの転居や国民健康保険、年金などの手続きに関する通訳依頼も多くみられます。

言語別では、近年ベトナム語、スペイン語が増加傾向で、在阪ベトナム人、ペルー人の増加に伴うものと考えられます。例えばベトナム語は、技能実習や国際結婚等の相談が多く、今年度4月から11月の間で昨年度1年間分の件数(68件)を超える92件で、英語に次ぐ2番目(昨年度4番目)に対応の多い言語となっています。フィリピン語は継続相談(1人複数回数)が多く、昨年度より増加しています。一方中国語による相談は増加しておらず、府内市町村などで中国語の相談員・通訳体制が整いつつあることが一因と考えられます。

相談内容項目別では、在阪外国人の方が日々の生活で抱える問題として「暮らし」の相談(30%)が最も多くなっています。さらに国際結婚で離婚した際の財産分与、夫婦間のトラブルによる精神的サポートなど複雑な事情の相談も寄せられています。また子どもの相談では、養子縁組の手続、本国から呼び寄せる際の学校編入、学習支援などさまざまです。

次に「在留資格」(20%)、「結婚・国籍」(16%)と続き、離婚、退職に伴う在留資格に関する相談は常に数多く寄せられています。

今年度は、マイナンバー制度の導入に伴い、「外国人にも交付されるのか?」「まだ個人番号カードが届かないが?」といった新制度に対する不安も垣間みえます。このようなさまざまな相談に対して、適切に対応できるよう、当コーナーの相談員は日々情報収集に努めています。

■ 外国人住民の身近で相談に応じる

「外国人のための1日相談会」を府内市町村等と共催で実施中

当コーナーは広域的な府内外国人住民向けの相談窓口という位置づけですが、外国人住民がより身近な自治体等で相談できることが望ましいので、府内市町村等と共催で、「外国人のための1日相談会」を実施しており、今年度は6回実施しています。

その他、府内市町村の外国人相談窓口担当者を対象に「大阪府外国人向け行政情報提供窓口相談員ネットワーク会議」を開催し、相談員同士の連携を構築しつつあります。相談員、通訳者のスキルアップのための研修会も定期的に開催しています。

このように当コーナーでは、府内市町村等における外国人相談窓口設置に向けて、サポート事業を実施しています。

■ 登録相談員レポート

- スペイン語担当 本津 真理

近年のインターネットの普及等により、当コーナーの電話番号を見て、他府県や海外からの相談があります。言葉の壁で、情報を得る術もなく、問題を抱えた南米日系人の方がおられる状況です。日系人の日本での就労が認められた入管法改正から25年が経ち、「出稼ぎ」から日本での「定住者」となった今も、日本語でのコミュニケーションが十分でないまま、高齢化しつつあります。年金、保険もなく、本国に居場所のない方々に、地域コミュニティと連携を図り、言語支援を行うことが私の任務であると考えています。

- ベトナム語担当 河目 優希

近年、大勢のベトナム人の方が留学や技能実習等で来日しています。

私は、日本での生活に期待しながらも、文化、習慣等を理解できず、言葉の壁から周囲になじめず、孤立していろいろな問題を抱えておられる在日ベトナム人の方からの相談に対応しています。悩みごとを抱え込まず安心して生活していただけるよう、ベトナム語の相談員として、今まで得た知識や経験を活かし、相談に対応することで在日ベトナム人の方のお役に立ちたいと考えています。

- 中国語担当 馬 嬰韻

私はOFIXの中国語相談員として、国際結婚をした夫婦間の問題、在留資格、交通事故、その他日常生活上の様々なトラブルなど日本在住の同胞からの相談を受けています。中国語が通じる病院の紹介など、言葉のハードルによって生じる問題にも対応しています。

その他にも、医療機関からの電話通訳の依頼を受けたり、近年は、観光で来られている方々からの相談にも対応しています。私は中国語通訳として、在日中国人の方が、日本国内で明るく、快適に生活ができるようお手伝いさせていただきたいと思っています。

【04】 事業報告

■ 大阪府堺留学生会館 オリオン寮からこんにちは

◎ オリオン寮避難訓練

実施日：11月21日（土） 10時-11時30分

参加者：オリオン寮生30名他

オリオン寮と近隣の大阪市立大学国際交流宿舍の留学生は、毎年合同で避難訓練を実施しています。寮内で出火した想定での避難訓練の後、消防署の方から、消火器の使い方をご指導いただきました。「初期消火、避難の仕方、119番通報等すべてきちんとできていた」との講評をいただきました。

消防指導の後、災害時指定避難所となっている西百舌鳥小学校までのルート確認のため、参加者全員で歩きました。避難する際には行先を書いたメモを自宅に残すことなどについて学ぶことができましたようです。

◎ オリオン寮地域交流会（ウインターパーティ）

実施日：12月6日（日）17時-19時

参加者：69名

寮生と近隣住民の親睦を深めるため、地域交流会を開催しました。

恒例の北堺警察署の防犯指導や近隣住民の健朗会の皆様の歌唱、書道指導の他、吉田呉服店様のご協力を得て着物の着付けをしていただき、着物姿の寮生を見てあちこちで「かわいいね！」という声があがっていました。また、今回は初の試みとしてカルタ取り大会を行い、参加者たちは一足早いお正月気分を満喫していたようです。

◎ オリオン寮管理人紹介

高木 淑人

2011年にパナソニックを定年退職し、今年4月からオリオン寮の管理人の仕事をしています。

退職前の10年間は松下幸之助記念財団に出向し、新潟県南魚沼市にある国際大学の留学生に奨学金を給付する業務を担当していたので、オリオン寮生には親しみを感じています。また以前からOFIXニュースを読んでいたので良きご縁を感じています。

中学生の頃から、歌を通じて英語などの語学を学び、今では、英語落語サークルに所属し、素人英語落語寄席に出演したり、仲間と大学を訪問し英語寄席を開催したりしています。

管理人業務でも、寮生向けの案内文書を英訳したり、寮生と英語で会話をするなど得意の英語を活かして日々頑張っています。

今後も仕事と趣味を通じ、"日本人の思い"を、寮生や外国人の方々にお伝えすることを私の人生の最後の目標としています。

■ 第18回ふれあい交流祭り

実施日：11月23日(月)

場 所：国際交流基金関西国際センター

このイベントは、関西国際センター研修生と地域の住民のふれあいの場として、関西国際センター研修生交流支援協議会（岸和田以南の国際交流団体10団体及びOFIXで構成）が毎年開催しています。18回目の今年は、阪南吹奏楽団によるパフォーマンスで始まり、昨年に引き続き研修生モデルによる民族衣装のファッションショーが行われ、恒例の各国際交流団体による多彩な催しもの、研修生による自国紹介ブースが設けられました。茶道、着付け、居合道体験もあり、特に南京玉すだれや皿回し体験は地域の子どもの人気を集めていたようです。

今年も研修生と地域の方々とのコミュニケーションを深める機会となりました。

- 平成27年度第2回 大阪府外国人向け
行政情報提供窓口相談員ネットワーク会議
実施日：12月8日（火）13時30分-16時30分
場 所：マイドームおおさか 8階 第3会議室
出席者：28名

法務省大阪入国管理局総務課渉外調整官 高山知久氏をお招きし、「入管法改正（2012年7月）以降の状況及び最近の改正について」というテーマで中長期在留者対象の在留管理制度、在留カードなどについて、講義をいただきました。

後半は、大阪大学グローバルコラボレーションセンター特任准教授でNPO法人多言語センターFACIL理事長の吉富志津代氏にファシリテーターをお願いし、ワークショップを行いました。相談事例を取り上げ、各グループで事例の背景、問題点について意見を出し合い、対応策について話し合いました。

他団体のメンバーと意見交換したり、相談事例対応策も聞けたことで、視野を広げることができたようです。

***** OFIX共催事業 *****

- 外国人のための1日無料相談会／岸和田市国際親善協会
実施日：12月13日(日)
場 所：マドカホール 2階

岸和田市国際親善協会はOFIXと共催ではじめての「外国人のための1日無料相談会」を開催しました。同協会日本語を学ぶ外国人住民の方も相談会に訪れ、10件の相談がありました。夫婦関係、転職などのほか、オンラインビジネスを始めるにはどうしたらいいかという起業についての相談もありました。

相談には行政書士及びOFIXの相談員があたり、語学ボランティアが英語、スペイン語、ベトナム語、インドネシア語、中国語の通訳対応を行いました。

相談者からは、「自宅の近くで相談ができ便利」というコメントが寄せられ、より身近な市町村等での相談会を希望される意見が聞かれました。

【05】 Topics

- 平成27年度 大阪府 地震・津波災害対策訓練にOFIXが参加！

OFIXと大阪府は、大規模災害時に多言語情報発信等の拠点となる「大阪府災害時多言語支援センター」を迅速に設置・運営するための訓練を実施します。

本訓練は、大阪府が災害対処能力の向上と関係機関との連携強化を目的として平成28年1月19日（火）に実施する南海トラフ

巨大地震を想定した地震・津波災害対策訓練の一環として実施するものです。

第1部では、基礎講座として「やさしい日本語」の基礎知識を学び、情報提供のメリットとデメリットを確認します。第2部では実地訓練として、模擬センターを設置し、情報の整理、選別、多言語化、ツールを使っての情報発信など、多言語情報発信の流れを体験します。

本訓練を通じて、多言語情報提供の流れを再確認し、今後の体制構築の礎としてまいります。

■ 池田市国際交流センターがオープンしました！

平成27年11月1日、外国人市民支援、地域の多文化共生の拠点として、池田市国際交流センター（IMC）がオープンしました。

取材に訪れた日は、ボランティアミーティングが開催されており、とても活発な雰囲気でした。

毎週木曜日14時-16時には、外国人のための無料相談会を実施されています。対応言語は英語、中国語、韓国・朝鮮語です。（その他の言語での通訳を希望の場合は、事前にIMCに要相談）

IMCの日々の情報はフェイスブックに掲載されています。
<https://www.facebook.com/ikedamulticulturalcenter>

住所：池田市城南3丁目1番40号
（池田市保健福祉総合センター2階）
Tel：072-735-7588 Fax：072-735-7589
開館日時：10時-18時 休館日：火、第2土 12/29-1/3
E-mail：imc@city.ikedam.osaka.jp

【06】 お知らせ

◎ 平成27年度ワン・ワールド・フェスティバル開催

世界につながる国際協力のお祭り「ワン・ワールド・フェスティバル」が以下のとおり開催されます。

日時：平成28年2月6日（土）・7日（日）10時-17時
会場：カンテレ扇町スクエア・北区民センター・扇町公園
<http://www.interpeople.or.jp/owf/>

◎ 大阪府堺留学生会館オリオン寮4月入居者募集

オリオン寮では、4月からの入居者を1月上旬より募集します。

詳細は1月上旬OFIXホームページに掲載予定
<http://www.ofix.or.jp/accept/support/orion.html>

- 次回OFIXニュース（第78号）は、4月発行となります。

編集後記

